

# 日本英語学会第37回大会

日時：2019年11月9日(土)・10日(日)  
場所：関西学院大学(Kwansei Gakuin University)  
(〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155)

第1日 11月9日(土)  
午前

ワークショップ 9時30分より11時45分まで

第1室 言語の多様性再考：外在化の観点から (G号館2階 201)  
企画者 北田伸一(東京理科大学)  
司会者 北田伸一(東京理科大学)  
発表者 那須川訓也(東北学院大学)・北田伸一(東京理科大学)・前田雅子(西南学院大学)・北原久嗣(慶應義塾大学)

第2室 Exploring Pair-Merge of Heads (G号館2階 202)  
企画者 Nobu Goto (Toyo University)  
司会者 Nobu Goto (Toyo University)  
発表者 Yushi Sugimoto (University of Michigan)・Nobu Goto (Toyo University)・Andreas Blümel (University of Göttingen)

第3室 英語史における形式の出現と消失について—生成文法理論による説明 (G号館2階 IS208)  
企画者 近藤亮一(弘前大学)  
司会者 近藤亮一(弘前大学)  
発表者 松元洋介(中京大学)・横越梓(名古屋工業大学)・近藤亮一(弘前大学)・山村崇斗(筑波大学)

スチューデント・ワークショップ 9時30分より11時45分まで

第4室 意味論・語用論的な分析が求められる言語現象とは何か (G号館2階 IS206)  
企画者 水谷謙太(大阪大学大学院)  
司会者 田中英理(大阪大学大学院文学研究科)  
発表者 水谷謙太(大阪大学大学院)・井原駿(大阪大学大学院/日本学術振興会特別研究員)・平山裕人(大阪大学大学院/日本学術振興会特別研究員)

受付 11時30分より (G号館2階 209)

総会 12時より12時50分まで (G号館3階 301)

◇開会の辞 会長 廣瀬 幸生 (筑波大学)  
◇開催校代表挨拶 関西学院大学文学部長 片山 順一  
◇委員会・事務局報告  
大会運営委員会報告 委員長 松岡 幹就 (山梨大学)  
編集委員会報告 委員長 西岡 宣明 (九州大学)  
広報委員会報告 委員長 大名 力 (名古屋大学)  
事務局報告 事務局長 和田 尚明 (筑波大学)  
学会賞委員会報告 委員長 水口志乃扶 (神戸大学名誉教授)  
◇授賞式

午後

特別講演 12時55分より15時05分まで(各発表の間に10分の休憩)

第1室 (G号館2階 201)  
司会 窪田悠介(国立国語研究所)  
戸次大介(お茶の水女子大学) 「理論言語学に基づく自然言語理解の最新線」  
西山淳子(和歌山大学)  
Kentaro Nakatani (Konan University) "Linguistic competence, performance, entailment, and inference—How is our mental system organized?"

第2室 (G号館2階 202)  
司会 藤川勝也(富山大学)  
山口治彦(神戸市外国語大学) 「対話空間と談話の文法」

シンポジウム 15時15分より18時まで

A室 統語-音韻インターフェイスに必要な情報の表示をめぐって (G号館2階 201)  
司会 漆原朗子(北九州市立大学)  
講師 木村博子(千葉工業大学) 「削除が意味解釈に及ぼす影響について」  
成田広樹(東海大学)  
講師 漆原朗子(北九州市立大学) 「複合語の音韻的実現およびオノマトペ述語の意味解釈に必要な情報」  
渡辺 明(東京大学) 「Pred<sup>0</sup>」  
ディスカッサント 多田浩章(福岡大学)

B室 The Semantics of Intensional Phenomena(公開) (G号館2階 IS206)  
司会 Christopher Tancredi(Keio University)  
講師 David Oshima(Nagoya University) "How "should" works: With a special focus on the issue of supererogation"  
講師 Junri Shimada(Keio University) "Mass nouns and intensionality"  
講師 Joseph Tabolt (University of Electro-communications) "Evidence and epistemic modality"  
講師 Christopher Tancredi(Keio University) "Toward a one-world semantics"

C室 話しことばの研究と「スタンス」：言語形式から社会的アイデンティティまで (G号館2階 IS208)  
司会 山下里香(関東学院大学)  
講師 鈴木亮子(慶應義塾大学) 「会話における繰り返しの動的なスタンス構築」  
山下里香(関東学院大学) 「児童の会話におけるスタンススタイルおよびコードの選択」  
講師 高梨博子(日本女子大学) 「観光場面の対話におけるスタンス行為」  
講師 岩田祐子(国際基督教大学) 「二言語による社会化：創発的・多層的なスタンス構築とイデオロギー」

公開特別シンポジウム 15時15分より18時まで

D室 ことばは現実をどう捉えるか—ことばの対照研究のおもしろさ— (G号館3階 301)  
司会 廣瀬幸生(筑波大学)  
講師 松本 曜(国立国語研究所) 「移動事象の言語化：実験調査による英語と日本語との対照」  
講師 井上 優(麗澤大学) 「話し手の気持ちは言語にどう反映されるか—日本語と中国語の場合—」  
講師 岡本順治(学習院大学) 「ドイツ語の心態詞と日本語の終助詞を使った「驚き」と「独白」の表示：その共通性と違い」  
講師 渡邊淳也(東京大学) 「フランス語の語彙の抽象性・操作性と日本語の語彙の具象性・指示性」

※当シンポジウムは言語系学会連合との共催

懇親会 18時20分より19時50分まで

関西学院会館 会費：4,000円(学生3,000円)

交通：JR西宮駅よりバス：阪急バス(1番のりばから[11]系統甲東園行き)に乗り、「関西学院前」下車(バス乗車時間約15分)。または、阪急甲東園駅よりバス：阪急バス(1・2番のりばからのバス)に乗り、「関西学院前」下車(バス乗車時間約5分)。

参加費：2,000円(会員・非会員とも)。  
ただし、(スチューデント)ワークショップ・公開(特別)シンポジウム(シンポジウムB室・D室)のみの入場は無料。

○大会期間中(9日・10日)は車でのご来場はできません。  
○キャンパス内(校舎内および通路)は指定喫煙区画以外禁煙です。  
○食堂については、9日(土)と10日(日)の両日も、学生会館旧館内BIG MAMAをご利用いただけます(営業時間は9日が11:00~14:30、10日が11:00~14:00となります)。売店についても会場から近いところにコンビニエンスストアがあります。  
○書籍展示・販売会場：G号館2階 203・204・205・207・208

第2日 11月10日(日)  
午前

受付 9時より (G号館2階 209)

研究発表 9時30分より12時10分まで(第2発表と第3発表の間に10分の休憩 それ以外は5分の休憩)

第一室 (G号館2階 201)  
司会 前田雅子(西南学院大学)  
小林亮哉(名古屋大学大学院) 「Labeling Algorithmに基づく主語・補語倒置の分析」  
齋藤章吾(東北大学大学院) 「Labeling AlgorithmとCopy Deletion」  
司会 成田広樹(東海大学)  
中島崇法(東北大学) 「ラベル付けの最小探索領域について」  
内芝慎也(無所属) 「ラベリングと自由併合に関する問題と転写の効果とパラメーター」

第二室 (G号館2階 202)

司会 中村太一(福井大学)  
Xue-Ying Hu (Gifu University) "What does the Unavailability of Genitive Subject in Naxi Suggest?"  
Hideki Maki (Gifu University)  
菅野 悟(東京理科大学) 「長距離素性継承を用いたラベル付けと名詞句内部からの抜き出し」  
司会 木村宣美(弘前大学)  
田中祐太(名古屋大学大学院) 「名詞句内における値未付与素性の役割とその帰結」  
Takashi Munakata (Yokohama National University, Part-time Instructor) [招聘] 「Featural Approach to Distinction of Copies and Repetitions」

第三室 (G号館2階 IS206)

司会 柚原一郎(首都大学東京)  
土橋善仁(新潟大学) [招聘] 「一致形態の豊かさと音韻論の関係について」  
西牧和也(新潟食料農業大学) 「形態的有標性の仮説」と「競合理論」：日英語の「強い結果構文」を巡って  
司会 漆原朗子(北九州市立大学)  
高橋英也(岩手県立大学) 「受け身「ラレ」の形態分離と繫属述語仮説」  
中島 崇(富山県立大学)  
石田 崇 (筑波大学大学院/日本学術振興会特別研究員) 「英語の接頭辞付き関係形容詞について」

第四室 (G号館2階 IS208)

司会 遠藤智子(東京大学)  
小倉美知子(東京女子大学) 「Hunger (v.)かbe hungry (be+adj.)か—通時的選択」  
Junichi Toyota(Osaka City University) "The origin of the *get*-passive revisited"  
司会 藤川勝也(富山大学)  
平田拓也(名古屋大学大学院) 「混合動名詞の出現と衰退について」  
近藤亮一(弘前大学) 「英語史におけるHow come構文の起源と発達について」  
玉田貴裕(皇學館大学)

第五室 (G号館1階 IS106)

司会 西山淳子(和歌山大学)  
森 貞(福井工業高等専門学校) 「言語におけるleakage現象」  
菊池由記(大阪大学大学院) 「N-free XとN-less Xの構文形態論に基づく分析」  
司会 窪田悠介(国立国語研究所)  
本多正敏(横浜商科大学) 「情報焦点移動と強調—形容詞の前置を伴う Preposing around Be を事例として—」  
堤 博一(東北大学大学院) 「束縛と作用域の再構築効果のずれ」

第六室 (G号館1階 IS108)

司会 高梨博子(日本女子大学)  
大室剛志(名古屋大学) [招聘] 「構文イデオロム化とその後の展開」  
堀内ふみ野(大東文化大学) 「子どもの前置詞句単独発話—談話的文脈と前置詞ごとの相違の観点から—」  
司会 眞田敬介(札幌学院大学)  
石川和佳(筑波大学大学院) 「文脈における2種類の道具主語構文：焦点と集合に含まれる要員に着目して」  
山内 昇(大同大学) 「Speaking of 構文の成立過程に関する考察：構文文化の観点から」

午後

シンポジウム 13時10分より15時55分まで


E室 フェーズ境界を超える意味・音声解釈—フェーズ理論に基づく言語インターフェースの研究— (G号館2階 201)  
司会 金子義明(東北大学)  
講師 金子義明(東北大学) 「解釈プロセスの非局所的適用の可能性について」  
高橋将一(青山学院大学) 「下降外置：併合と局所性について」  
講師 稲田俊一郎(明治薬科大学) 「制限的關係節における共有構造」  
講師 瀧田健介(同志社大学) 「等位接続された残余句を含むスルーシングと島の修復」  
中村太一(福井大学)  
前田雅子(西南学院大学)

F室 モダリティ研究の広がり—主に認知と談話の観点から— (G号館2階 IS206)

司会 眞田敬介(札幌学院大学)  
講師 長友俊一郎(関西外国語大学) 「英語法助動詞を用いて述べられる事柄の特徴」  
講師 眞田敬介(札幌学院大学) 「根源的mustのさらなる使用依拠の研究に向けて—周辺部に生起する評言節I must sayの談話機能分析—」  
講師 遠藤智子(東京大学) 「認識動詞を用いた話し手の態度表明—認識的モダリティと認識的スタンス—」  
講師 鈴木大介(摂南大学) 「モダリティと多機能性—多様な語順を生む副詞の効果—」

G室 破格構文・例外的現象から見える言語の一般的特性 (G号館2階 IS208)

司会 金谷 優(筑波大学)  
講師 三野貴志(大阪大学大学院) 「一般動詞を伴うThere構文の構文論的分析：構文の機能と動詞(クラス)特定構文の関わり」  
講師 辻早代加(大阪市立大学(非常勤)) 「winクラスの二重目的語構文の周辺性と一般性について」  
講師 金谷 優(筑波大学) 「言語知識としての構文ネットワーク：because構文を例に」  
講師 住吉 誠(関西学院大学) 「フリーズ接続副詞としての add to that：文接続への示唆」

会長：廣瀬幸生(筑波大学)  
大会運営委員：[委員長]松岡幹就(山梨大学)、[副委員長]木村宣美(弘前大学)、窪田悠介(国立国語研究所)、中村太一(福井大学)、成田広樹(東海大学)、米山聖子(大東文化大学)、五十嵐海理(龍谷大学)、遠藤智子(東京大学)、眞田敬介(札幌学院大学)、柚原一郎(首都大学東京)、漆原朗子(北九州市立大学)、高梨博子(日本女子大学)、西山淳子(和歌山大学)、藤川勝也(富山大学)、前田雅子(西南学院大学)  
開催校委員：[代表]田中裕幸、茨木正志郎、今西祐介、浦啓之、杉崎龍司、山田一美、山本圭子  
開催校協力委員：楠本紀代美(関西学院大学)、工藤和也(龍谷大学)、平崎永里子(園田学園女子大学)  
事務局：[事務局長]和田尚明、五十嵐啓太、大澤舞、金谷優、小栗哲哉、今野弘章、田村敏広  
後援：

\*学会誌English Linguisticsならびに新人賞への応募締切日等につきましては、Newsletter「え〜ごがく」および学会ホームページ(<http://elsj.jp/>)をご覧ください。

## The English Linguistic Society of Japan